

第二回総会 六甲台で

## ゲームを観よう!! 国領会長が強調

### 53年度総会報告

53年度総会は、さる6月11日(土)午後6時から六甲台食堂で、OB約40名、現役17名が参加する中でにぎやかに開催されました。

52年度決算の承認、53・54年度新役員の選出が滞りなく行なわれ、その後に懇親会に入り、各人が割り当てられた3分間の持ち時間の中で思い出話をするといったなごやかな雰囲気の中に閉会となりました。

尚、総会に先立ち六甲台グラウンドで行う予定でありました凌霜ラガーの紅白試合は、あいにくの悪天候のため人数がそろわず、OBチーム対一・二年生を中心とした現役チームの試合となりました。

ゲームを観戦せられ精神面で種々アドバイスして頂ければ幸甚です。

尚、物質面では会の予算の関係もあり、他の大学に比して必ずしも十分であるとは申せませんが逐次充実したいと思っております。会員の皆様の絶大の御支援をお願いします。

53年度の試合日程も内定致しましたので近日お手許に届くと思っております。是非御観戦現役を激励して頂きたいと思っております。

何と云っても現役が強くなってくれることがOBの最大の関心事であります。会員の皆様のお力添えにより往年の名声を取戻したいと思っております。一層の御協力御支援をお願いします。

### 会長メッセージ

会長 国領 武一郎

復活第二回の凌霜ラガーの総会が6月18日六甲台の学生食堂で行われ、その節の皆様のお推挙によりもう一期会長を勤めることになりました。今回は理事・運営委員に新人を若干増強し新風を入れることとし、皆様のお期待に副える運営を行いたいと思っております。皆様の一層の御協力御支援を切望致します。

一昨年の第一回の総会では、本会の目的は具体的に

1. 会員相互の親睦
2. OBチームの対外試合
3. 現役チームの指導、支援

であると申し上げましたが、第一については会として会合を持つことが出来ず残念に思っております。今年は是非とも実現したいと思っておりますので良案がありましたら教えて頂ければ有難いと思っております。

第二は適当なチームを選んでゲームを楽しんで頂きました。益々盛んにしたいと思います。

第三は室賀君を中心にコーチ陣を強化して実技面での成果を期待しておりますが、その他の会員の皆様も暇を造って頂いてグラウンドに出かけ、又

### 新役員氏名

(昭和53～54年度)

会長	国領武一郎(昭12)
副会長	妹尾 鈴弘(昭18)
理事	田中 太郎(大15) 杉山 信三(昭11)
	国領武一郎(昭12) 田中 初雄(昭12)
	田中 忠雄(昭15) 五島 治(昭16)
	妹尾 鈴弘(昭18) 三宅 秀乙(昭22)
	太田 奎吾(昭27) 子安 武(昭29)
	井沢 俊之(昭30) 高塚 幸(昭31)
	松本 昭一(昭31) 小玉 康雄(昭39)
	室賀 隆(昭43)

### 運営委員

竹村 秀博(昭33)	平井 匠(昭37)
小玉 康雄(昭39)	国沢 健一(昭41)
深山 欣秀(昭41)	室賀 隆(昭43)
矢野 智(昭43)	田畑 芳彦(昭43)
野中 克己(昭44)	清水 睦夫(昭45)
阪下 喜治(昭48)	田中 俊明(昭49)
吉沢 昌恭(昭50)	西川 隆一(昭51)
星川 翼(昭52)	山入端邦男(昭53)

# Aリーグ昇格のチャンス

上位二校が  
入替え戦に

## 今シーズンの見通し

現役監督 室賀 隆

まず、今シーズンの抱負を述べるに当り、春の練習の結果を総括してみますと、総合点としては80点という出来ではないかと思えます。スピード、当り、及びスクラムの強化を主眼に、ポジション的には、フロントロー、SH・CTB・WTBの強化にポイントを置いて、春の練習をスタートしましたが、スクラムについては、Bリーグのチーム相手では、ほぼ負けないスクラムを組めるようになったこと、ボールの繋ぎが良くなったこと、SOに安定感が出てきたことなどは、春の練習の成果として評価できる点であり、現時点で昨年と比較した場合、当り、スピード、共に今年は相当向上しているといえます。ただし不利な戦況を繰り返すだけのスピードには、今一つ欠けること、当り、特にCTBの当りが弱いこと、精神面の甘さがあり、ディフェンスが悪いことなど不安材料もかなり残っており、これらの強化は夏合宿以降の課題であります。

次に、今シーズンをいかに戦うか、であります。今シーズンの戦略としては、諸般の情勢を勘案した上で、昨年までの「CTBにおける一次ポイント→FBのライン参加」という戦略を捨て「SOのボックスキックによるキックアンドラッシュ」と言うパターンを基本戦略にすることに致しました。夏合宿については、内容的には、前述のウィークポイントの強化と共に、この戦略に沿った練習をしていくこととなりますが、今年の合宿は、新しい試みとして、白馬岩岳における前半四日間は練習のみ、菅平における後半四日間は試合主体に戦略の完成をめざす、という形で進めるつもりであります。

最後に、今シーズンの見通しであります。今年のBリーグは、現時点では、近大が若干抜け出ているものの、後は、良くいえば、実力伯仲、悪くいえば、ドングリの背くらべ、という状態であり、更に、今シーズンより上下各二校づつが入替え戦に出場するという形に変更になりますので、夏

合宿以降の調整次第では、大いにAリーグに上られるチャンスがあると思えます。(逆にCリーグへ転落する危険性も大きくなりますが……)従って、今年は昨シーズンの「リーグ戦緒戦のコンディションニングの失敗」という経験を生かし、リーグ戦前にミニキャンプを行なう予定もしており、かなり期待がもてます。神戸大学の最近の最大の欠点である精神面の甘さの矯正については、諸先輩よりいろいろ御教示を頂くことが、何よりも特効薬であると思えますので、今年は、東京から近い菅平で久々にキャンプを張るわけでもあり、多数、合宿にお越し頂き、現役を激励して頂くことをお願いし、結びと致します。

## 昨シーズンの教訓を生かして

現役主将 小松 規 秀

新チームを結成し、3月中頃から練習を開始し、3カ月になりました。新入生も11名を数えまして、部員も40名を越えました。

御存じかと思いますが、練習開始2週間がたった、4月7日、2年生の中部充治君が脳内出血で倒れました。幸い、命は取り止めたが、今もなお、意識は戻っておりません。我々も少しでも家族の人達の負担を少なくしてもらおうと、微力ながら、2年生を中心に毎日病院へ手伝いに行っている次第であります。そして10日後に何とか、練習を再開し、新入生も交えて練習に励んできました。

ここで今年のチームについて少し述べておきます。まずFWは、今年の最大のポイントはスクラムの強化、特に第1列の強化といわれてきましたが、FWの練習もスクラムを中心におき、毎日100本近く組んできました。その結果、徐々に力をつけ、Bリーグのチームとは、互角に組めるまでになりました。そして、試合を積んでいくにつれ、FWのつながりが急速に良くなり、4年生が2名という若いFWだけにこれからが楽しみです。これからの課題は、スクラムのさらの強化ということもありますが、特に、モール、ラック作りだ

と思われま。

次にBKはといいますと、春合宿以後、ケガ人が続出し、思うようなメンバーを組めませんでした。が、個々には相当力をつけてきました。特に、ディフェンス力、突進力は春とは比べられないほどの力をつけてきたと思われま。BKも4年生が2名しかいないので、練習、試合を積むにつれますます良くなると思われま。

実際、最終戦の六甲クラブ戦（春合宿時には大敗したのですが）では、FWはボールを良く確保し、BKは、よく前に出、さらにタックルもよく快勝いたしました。この調子で夏をのりきりますと、秋にはOB諸氏にも、期待していただけるチームになると思われま。

今年の夏合宿は、岩岳一菅平という異例の合宿を行ないま。そして、今年、監督室賀氏を中心としてコーチ陣がしっかりしておりますので、すばらしい夏合宿の成果を上げようと今から張りきっているわけでありま。

去年は最下位という苦杯をなめました、今年、去年の教訓を忘れずに、みんなですばらしいチームをつくりあげ、秋には気合のこもったすばらしい試合を必ずやっています。OBの方々も、一人でも多く、合宿に、試合においでくださいますようお願い申し上げます。

53年 春季練習試合戦績

4/30	神戸大	16 - 54	関西学院大
5/6	神戸大	42 - 6	神戸商科大
5/7	神戸大	4 - 76	六甲クラブ
5/13	神戸大	18 - 16	甲南大
5/21	神戸大	36 - 16	京都大
5/27	神戸大	30 - 18	和歌山大
5/28	神戸大	22 - 126	京都産業大
6/3	神戸大	18 - 66	近畿大
6/10	神戸大	16 - 58	大阪経済大
6/11	神戸大	8 - 30	立命館大
6/17	神戸大	32 - 22	京都府立大
6/18	神戸大	32 - 24	六甲クラブ

53年度 秋季リーグ戦日程

9月16日	大阪教育大学	万博球技場
24日	甲南大学	"
10月22日	近畿大学	万博広場
29日	大阪大学	"
11月19日	関西大学	花園第2
26日	追手門学院大学	万博広場
12月3日	桃山学院大学	"

新 入 部 員

学 部	氏 名	出 身 高
経 営	川 北 登 志 雄	天 王 寺
"	福 田 良 仁	八 尾
経 済	安 井 隆 司	大 手 前
法	川 端 倫 人	高 津
工	中 本 和 夫	北 野
"	安 積 英 幸	天 王 寺
"	坂 下 清 信	高 津
"	西 崎 一 郎	千 里
農	野 村 靖	四 条 畷
理	天 知 吾 郎	西 宮 南
教 育	有 明 志 郎	千 里

寄 稿 の お 願 い

本編集部では、＜思い出のゲーム＞＜西から東から＞といった企画を今後も継続してゆく予定です。つきましては、皆様方の大いなる投稿をお願いいたします。

四百字詰原稿用紙3枚以内、横書にてお願いいたします。

投 稿 先 大阪市西淀川区御幣島1-5-24

〒555 吉 沢 昌 恭

会 費 納 入 の お 願 い

会費納入ありがとうございます。未納入の方は下記の口座へお振込下さい。

振 込 先

住友銀行天満橋支店 普通預金 № 957978  
凌霜ラグークラブ

三和銀行大阪駅前支店 普通預金 № 27557  
凌霜ラグークラブ

中国銀行東京支店 普通預金 801-999156  
東京凌霜ラグークラブ

53年 夏 季 合 宿 日 程

8/16 ~ 8/19	やまます館(白馬) 02617-2-2290	長野県北安曇郡白馬村新田
8/21 ~ 8/24	丸山荘(菅平) 02687-4-2345	長野県小県郡真田町菅平

## 52年度収支報告書

昭和53年3月31日現在

収入の部		支出の部	
1. 繰越金	299,407円	1. 現役補助	380,000円
2. 会費収入	666,000円	① 合宿補助 250,000円	
① 51・52年分		② ジャージ補助 130,000円	
181人×@3,000円=543,000円		2. 通信費 東、西込み	88,620円
② 53年分 41人×@3,000円=123,000円		3. 印刷費 東、西込み	28,400円
3. 特別収入(12/1浜田)	10,000円	4. 慶弔費(東京)	10,000円
4. ジャージ販売代	20,500円	5. 対外試合費 東、西	60,180円
5. 雑収入	28,600円	6. 協会費 東京7,000円 大阪6,000円	13,000円
① 東京支部総会繰入 2/21	2,150円	7. 用品用具代(ジャージ、ストッキングetc)	42,400円
② 大阪凌霜懇親会繰入 12/1	6,450円	8. OB現役懇親会費	65,000円
③ OB現役交歓会収入 5/15 六甲台	20,000円	9. 雑費(交通費、振込手数料外)	14,550円
6. 利息	3,627円	10. 次年度繰越	326,029円
計	1,028,179円	計	1,028,179円

## 52年度東京支部収支報告書

昭和53年3月14日現在

収入の部		支出の部	
本部より補助	50,000円	本部へ送金	150,000円
会費	405,000円	協会費	7,000円
ジャージ代	75,500円	対外試合費用	37,300円
第二回総会会費	78,000円	通信費(印刷、切手)	59,720円
雑益	8,000円	交通費	10,190円
預金利息	2,211円	用品用具代	54,330円
		消耗品代	5,950円
		慶弔費(香典)	10,000円
		第二回総会費用	79,850円
		雑費(送金手数料)	750円
		次期繰越	203,621円
計	618,711円	計	618,711円

備考 会費内訳 51年度分 23名 69,000円、52年度分 75名 225,000円、53年度分 37名 111,000円

## 53年度 凌霜クラブ予算

収入の部		支出の部	
前期繰越金	326,029円	現役補助	400,000円
会費	650,000円	通信費	80,000円
		会報印刷費	100,000円
		慶弔費	20,000円
		対外試合関係費	100,000円
		協会費	13,000円
		東京7,000円	
		大阪6,000円	
		用品用具代	20,000円
		雑費	100,000円
		三商大	
		ミーティング費	50,000円
		予備費	30,000円
		次年度繰越	63,029円
計	976,029円	計	976,029円

## 53年度 事業計画

- 対外試合
  - 東京 5/3 富国生命 8/27 三和銀行
  - 9/17 東京銀行 10月 リコーOB
  - 11月 千葉銀行 12月 興亜火災
  - 大阪 3試合を予定 そのうち、三商大戦の同日、市大OBと対戦
- 名簿作成
- 現役合宿 白馬一菅平
- 定例理事会 7月、11月、3月の第2月曜日
- 定例運営委員会 8月、10月、12月、2月の第2月曜日
- 会報発行 7月、12月、4月
- 第三回東京支部大会 54年3月
- ゴルフ会 東京、大阪(7月23日)
- 大阪懇親会 11月14日